

地域を支えるつながり
未来につながる、それぞれの一歩

私たちの暮らしを身近なところで支えている町内会。一方で、担い手不足や高齢化、交流機会の減少など、町内会を取り巻く環境も変化しています。そんな中、それぞれの地域に合った方法で、これからの地域の未来につながる新たな取組が始まっています。

今回は、町内会の取り組みを「話す」「支える」「つながる」という３つの視点から紹介します。

■問合せ　環境生活課町民生活係　☎ 23-3209

暮らしの身近なところに町内会

町内会は、地域の行事を行うだけの組織ではありません。防災・防犯、街路灯やごみステーションなどの生活環境の維持、住民同士の見守りや支え合いなど、安心して暮らせる地域を身近なところで支えています。


防　災・　防　犯


見守り・支え合い


ごみステーション


街路灯・生活環境


地域行事・交流

地域の＂やってみたい＂を応援する「地域コミュニティ活性化事業」

町内会によって、抱えている課題も、必要としている取組もさまざまです。

町では、子育て世代や現役世代など、これからの地域活動を担う「未来をつくる世代」の参加を促しながら、町内会が主体となって地域課題の解決に取り組む「地域コミュニティ活性化事業」を始めました。

地域の行事に参加する。町内会活動を知る。近所の人と話す。できるときに、できることを少し手伝う。一人ひとりの小さな関わりが、人と人とのつながりを育み、安心して暮らせる地域の未来につながります。

今年度はモデル事業として、３つの町内会がそれぞれの地域に合った活動に取り組んでいます。

３つの町内会、それぞれの取り組み

話　地域のこれからを話し合う 下川町町内会

下川町町内会では、町内会の現状やこれからを考える「茶話会」を開催しました。「未来をつくる世代」にも参加を呼びかけ、地域が抱える課題などについて意見を交換。住民同士が顔を合わせ、これからの町内会を考えるきっかけとなりました。

Point

小さな集まりも大事な地域づくりです

支 みんなで支えて、次の人へ スターライト町内会

スターライト町内会では、班長などの役割を輪番制で担い、住民一人ひとりが「自分にできること」に取り組んでいます。担当が替わる際には、前任者が資料やデータを残して丁寧に引き継ぎ、新しい担当者をフォロー。役割を一人に任せきりにせず、経験を次の人へつなぎながら、みんなで活動を支える仕組みが根付いています。

また、これまで女性が中心だった「婦人部」を「サポート部」に改め、幅広い人が関われる体制へと見直しました。活動内容も整理し、仕事や子育てなど、それぞれの生活を大切にしながら、「自分にできること」で関わる町内会づくりを進めています。

こうした仕組みに支えられ、今年も交流会を開催。新たに SNS を活用して参加を呼びかけ、音楽演奏やビンゴ大会を通じて住民が顔を合わせる場を提供し、地域のつながりを広げる取り組みを継続しています。


音楽演奏


ビンゴ大会

Point

一人で背負わず、みんなで支えることが、活動を続ける力になります

繋 世代を越えて地域がつながる 末広町内会

末広町内会では、子どもから高齢者まで幅広い世代が集まる交流の場として、「ふれあいまつり」を開催しました。美里町内会やアウル育成会とも連携し、町内会の区域を越えて参加を呼びかけました。

会場には、くじ引きやガチャガチャ、射的、型抜き、輪投げなどを無料で楽しめるこども縁日を用意。屋外では焼き鳥やフランクフルト、おにぎりなども販売され、子ども連れの 30 代の参加も多く見られました。こども縁日は、育成会が中心となって運営し、子どもから高齢者まで楽しめる場となっていました。

幅広い世代が楽しめる「まつり」を開催することで、普段は接点の少ない人同士が顔を合わせる機会にもなり、さまざまな世代が同じ場所に集い交流することが、新たなつながりを育むきっかけとなっています。


ビンゴ大会


こども縁日

Point

誰もが気軽に参加し楽しめる場が、世代を越えた新たなつながりを育みます